



## 応化同窓会だよりの名称を変更します。

応化OBでいらっしゃる東洋大学大熊名誉教授に新しい題字を作成いただきました。

このタイトルは、応用化学科同窓会のメンバーが共に輝きを創造し、研究や技術の応用において偉業を成し遂げる姿を表現したものです。

大熊 廣一

今後、「応化輝煌（おうかきこう）」に込められたメッセージを次の世代へと繋げて、応化同窓会がますます発展していくよう皆様のご協力をお願いいたします。

## ■総会開催のお知らせ

### 11月のホームカミングデーin 川越にあわせて総会を開催いたします。

日時：2023年11月4日（土曜日）

【当日のイベント・スケジュール】

開催時間	イベント名	会場
12:30～ 13:00	キャンパスツアー (1回目)	集合場所：4号館前
<b>13:30～</b> <b>14:45</b>	各学科同窓会総会 <b>応用化学科同窓会総会</b> ※幹事会 12:00～13:00	<b>4号館4階 第3会議室</b> 4階411室
15:00～ 16:10	講演会 理工学部長 松元教授 ものづくりのためのDXがもたらすもの	2106 教室
16:10～ 16:45	キャンパスツアー (2回目)	集合場所：2106 教室前

応化同窓会ホームページ URL <http://toyo-ouka.com> に掲載予定しますので、そちらをご確認いただけますようお願い申し上げます。

応化同窓会会長 齋藤 誠

## ■新学科長ご挨拶 石井 茂 学科長(応化OB)

今年度4月より理工学部応用化学科・学科長に就任した石井です。応用化学科は1961年に工学部創設と同時に設立され、多くの教員に支えられ運営されてきました。また2009年には工学部から理工学部へ改組になりましたが、発足以来の学科名称である「応用化学科」のまま今年度で62年目を迎えることになりました。しかし社会的には18歳人口の減少による定員割れ、受験生の理科離が問題となっており、応用化学科が設立されてから約60年の間大学を取り巻く環境は大きく変化してきました。そのため社会のニーズに対応した川越キャンパスの改革も行われ、理工学部、総合情報学部以外に、2027年には環境イノベーション学部ができ、3学部体制になり、キャンパス内も一新します。学科としては応用化学科としてのIdentityを保ちつつ、学科の発展を目指して行きたいと思っております。そのため応化・卒業生の親睦団体である応化同窓会とも協力し、社会で活躍できる人材の育成に勤めたいと思っておりますので、ご協力のほど宜しくお願いいたします。

### ■卒業生の活躍等のお知らせ

川越キャンパス同窓連絡協議会 <https://www.toyo.ac.jp/alumni/kawagoe/>

川越キャンパス卒業生「今」<https://www.toyo.ac.jp/alumni/kawagoe/alumni-pickup/>

## ■2022年度応化同窓会賞報告 (春学期14名、賞状、副賞：図書カード2千円)

受賞者、研究室(担当教員)、テーマ

・濱邊 亮 環境工学研究室(井坂先生)「微量元素制限が亜硝酸型硝化活性とN<sub>2</sub>O発生量へ及ぼす影響」  
・上田 智也 生命工学研究室(峯岸先生)「きょうかい酵母の遺伝学的比較による清酒酵母スクリーニングの効率化」  
・佐藤 友哉 食品生物化学研究室(安藤先生)「最終生産物の異なるMyrothecium verrucaria株の代謝活性の検証」  
・右高 正起 結晶工学研究室(勝亦先生)「光散乱を用いた乳製品の品質検査」  
・高橋 花琳 化学計測研究室(相沢先生)「弱酸弱塩基の中和滴定におけるpH指示薬の色測定」  
・橋本 凌菜 ダイヤモンド研究室(蒲生先生)「炭素繊維表面における繊維状ナノ炭素複合化に及ぼす接触反応条件の影響」  
・富田 結菜 高分子材料研究室(石井先生)「水溶性キトサン誘導体の調製：分岐型多糖の調整とその生分解特性」  
・吉原 雅人 生物有機化学研究室(福島先生)「カルコンカルボン酸とカチオン性高分子によるAl<sup>3+</sup>センサー」  
・会沢 天斗 機能材料研究室(吉田先生)「ローダミンB銅錯体の合成と二酸化炭素の化学的固定化反応への転用」  
・西川 実聡 有機元素化学研究室(佐藤先生)「メチル基を有するヘキサチアアダマンタンの分離精製法開発」  
・大仁田 魁斗 理論・計算化学研究室(田代先生)「古典・第一原理分子動力学によるメタンハイドレートの計算と解析」  
・渡辺 華奈 分子分光研究室(藤野先生)「Cu<sup>+</sup>を用いた錯イオン形成によるPFOA・PFOSの検出」  
・岸 純哉 大気環境科学研究室(反町先生)「環境中マイクロプラスチック測定を試み」  
・阿部 太紀 表面化学研究室(片野先生)「高分解能電子エネルギー損失分光法を用いた表面吸着種の高感度計測」

## ■教員人事

### ①退職教員のお知らせ

・吉田 泰彦 教授（機能材料研究室）

2023年3月31日で東洋大学を退職されました。工学部時代から数多くの科目（主に有機化学）をご担当。

これまでのご厚情に心より感謝申し上げますとともに、今後の先生のご活躍を期待しております。

・許 家璋（シュ ジャウエイ） 助教

2023年3月31日で東洋大学を退職されました。理工学部の基礎教育科目（化学）をご担当。今後は東洋大学 バイオ・ナノ研究所に移籍されます。これまでのご厚情に心より感謝申し上げますとともに、今後の先生のご活躍を期待しております。

### ②新任教員のお知らせ

・小田 晋 准教授（機能有機化学研究室）

2023年4月1日着任。主に理工学部の専門科目（主に有機化学）ご担当。

・坂部 雅仁 助教（有機元素化学研究室）

2023年4月1日着任。主に理工学部の基礎教育科目（化学）ご担当。

これから、よろしくお願ひ致します。

### ③学内人事

松元明弘先生（機械工学科）が理工学部長に選出されました。

石井茂先生が学科長に選出されました。

井坂和一先生、相沢宏明先生が教授に昇進されました。

## おめでとうございます！！

## ■理工学部の近況

2024年に生体医工学部が朝霞キャンパス・生命科学部に移転し、理工学部は5学科体制。

## ■研究室紹介 第6弾 高分子材料研究室 石井 茂先生

高分子材料研究室は山下忠孝教授の定年・退官に伴い、後任として石井が着任し開設されました。当初は旧応化第2実験棟（現機械・電子情報第2実験棟）の1Fに研究室が有りましたが、応化・情報実験棟の完成と共に実験棟の2Fに移り、現在に至ります。研究内容は前任校の成蹊大で行っていた天然高分子（主にキチン・キトサン）の化学修飾による機能性材料の開発と、新たにメタセシス反応を用いたマクロライドの合成を行っています。天然高分子のキチン・キトサンは、資源的にはセルロースに匹敵すると言われていたが工業的な応用例は少なく、残された最後のバイオマス資源と呼ばれており、その有効利用が望まれている天然高分子である。天然多糖の特性を残しつつ、種々の化学修飾を施し、新しい機能性高分子材料の開発を目指している。もう一つの研究テーマであるマクロライドの合成では、メタセシス反応を応用した合成の困難な中・大員環ラクトン、種々のマクロライドの合成を行っている。将来的にはムスクの合成を目指しています。

文章では簡単に書けますが、実際の研究では予定通り反応が進まないことも多く、学生と日々議論し新しい化学修飾・合成法、分析手段を取り入れ、研究に励んでおります。またその過程で学生の皆さんには、卒業後、術者・研究者として恥ずかしくない知識、技術の習得に努めております。

## ■寄付募集・入会案内

新規会員の会費徴収が難しい状況が続く中、毎年このような会報で活動を周知しつつ、継続しております。今後更なる同窓会の発展、在校生への支援などさらに充実していく必要があると考えております。つきましては、趣旨をご理解いただき皆様のご支援とご協力を賜りますよう、何卒お願い申し上げます。 郵便振替口座：00140-5-86601 口座名称：東洋大学応用化学科同窓会

**終身会費2,000円で、応化同窓会に入会できます。下記のホームページに詳細の記載がございますので、ご賛同頂きは是非ともご検討頂ければ幸いです。**

### ■校遊ひろば

同窓会からの連絡だけでなく、皆さんの交流を図る「校遊ひろば」へのお便りをお待ちしています。皆様の現況、めったに会えない同窓生へ伝えたい事や同窓会へのご意見などお寄せください。このコーナーへの寄稿を機にみなさんの交流が新しく開ける事を期待します。原稿は、800字位で郵送にてお願いします。

宛先〒350-8585 埼玉県川越市鯨井 2100 東洋大学応用化学科同窓会事務局 相沢まで

### ◎開設ホームページのトップページです。(URL <http://toyo-ouka.com>)



### ■応用化学科同窓会ホームページ facebook のお知らせ

過去や今後の活動 会報 校遊ひろば等を掲載しております。

皆様の利便性や交流の場としてお使い下さい。

また、何かこの様な事をして欲しい等御座いましたらご連絡ください。

<https://www.facebook.com/pg/toyoouka/posts/>

検索してみてください。

東洋大学応用化学科同窓会会報 第 39 号

発行 2023 年(令和 5 年) 10 月

発行所 東洋大学応用化学科同窓会

〒350-8585 川越市鯨井 2100 TEL 049-239-1370 FAX 049-231-1031

(応用化学科教務室)

URL <http://toyo-ouka.com>